

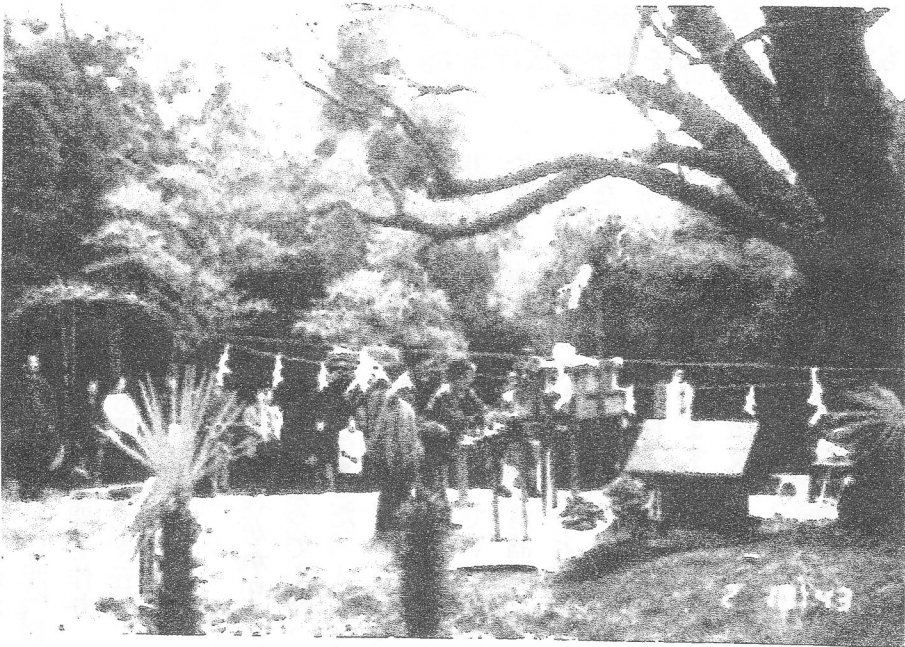
江戸見桜通信

第1号

2000.7.1

発行 江戸見桜の会事務局

fax 044-866-5569



「こんにちは！ 入っていいかい？」
と、声をかけよう

森に棲んでいるのは

タヌキ、コジユケイ、シマヘビ…

サクラ、ツブラジイ、タケ、ツクシ…

それから 森のエネルギー

トトロにコダマ、

幸せを祈ってくれる姿のない仏たち…

耳をすまそう 観じよう

気のむくまま歩いてみよう

多摩川の河口地帯だった

2000年前の縄文時代、

稲作が行われた弥生時代、

鎌倉時代から明治初期にかけて

熊野神社、阿弥陀堂、薬師堂、十王堂…

壮大な宗教施設があつた場所

いろんな文化が いろんな人生が

織り込まれた空間

心の中に森を抱え 慈しもう

時保の言祝ぎを高らかに吟詠しよう

4/1~2 江戸見桜の長寿を願う会報告

一般公募により、次のように決まりました。

桜憲章

- 1、桜を愛し、家族を愛します。
- 2、教養を深め、地域の文化を高めます。
- 3、自然のリズムに生き、地球をふるさとにします。
- 4、誰とでも語り合い、喜びを世界へ広げます。

四月一日は、足立幸子氏の絵画展を竹林で開きました。墨で描かれた「究極の宇宙意識」の数々の作品は、竹林とマッチして美しい空間を作り出しました。茶店も開店、三々五々訪れる人々は豊かなひとときを楽しんでいるようでした。

そして、江戸見桜の枯れかかり、冷たかった幹が、暖かくなってきたのには皆でびつくりしました。

二日は、祭壇を作ることから始めました。皆さんが持参して下さった野菜、果物、魚、海草、清酒、ワインなどを並べてお供えすると、見事な一枚の絵のようになりました。

祈禱が始まると、増福寺の鐘が静かに豊かになり響きます。

神主さんの二日間徹夜して考えたという心のこもった祈禱は、老木に寄せる私達の心を讃えて下さり、力強いエネルギーが絶えず降り注いでいました。

神社のお祭りなどとは異なる珍しい儀式を初めて体験する人も多く、

神妙な面もちの方が多かったです。

太古の時代も、こんな風な祭だったのではないのでしょうか。本来の祭は村全体の精神を高揚させ、傲慢な人間の心を変容させる役目をもっていたのでしょいか。

桜にとつては生涯に一度あるかないかの、晴れがましい舞台だったと思います。儀式が終わり清酒を頂くときには、長い列ができました。参加者は約二百人。

緋毛氈ひもうせんの舞台では、優雅な琴の演奏やメモリーズによる天使のような歌があり、中国茶の無料サービスも行われました。久保台公園ではバザーも開催。

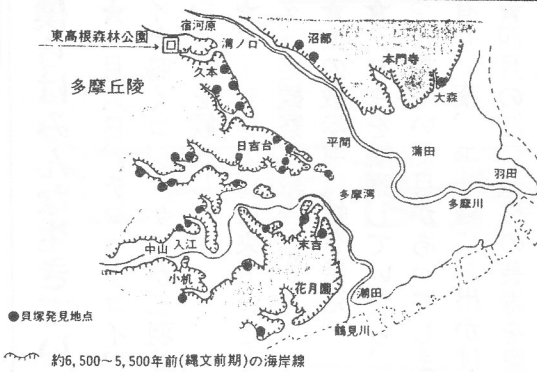
午後は、ターザンの樹に登ったり、葉書で作った飛行機を飛ばす遊びも行われました。その後TVKの取材があり、六日後にはテレビ放映がされました。

数日後、桜は思いがけず見事に咲きました。清く優しい花でした。皆様、有り難うございました。

熊野森に生きた人々

向ヶ丘は向の岡と呼ばれ、多摩川沿いの丘陵地の総称でした。江戸名所図絵には「向の岡と称する地は、多摩川を北に帯びて、西は関戸よりおこつて東は末長に終わる」とあり、末長は文字通り長い岡の末にある土地なのです。

縄文時代の前半、地球は温暖化していて海面は今より四メートル程上昇してい



●貝塚発見地点
約6,500-5,500年前(縄文前期)の海岸線

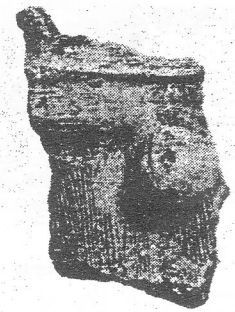
ました。付近の貝塚からは、ハマグリやヤマトシジミなど塩分を含んだ水域で撮れる貝などが見つかり、縄文人の村があったことがわかります。

多分彼らは、より良い食料を求めて西から東へ向の岡に沿って移動して来たのでしょう。おそらく、丸木舟なども使われていたと思われま

す。ところが、弥生時代になると南から北へ移動する集団が現れます。高津区梶が谷を中心に幾つかの集落が作られ、周辺の谷戸で稲作が始まりました。

次第に村の首長が大きな権力を持つようになり、豪族が現れました。古墳時代の始まりです。

そして、次に登場するのが熊野権現です。熊野神社を始め、阿弥陀堂、葉師堂、十王堂など多くの広大な宗



鈴付壇輪片

教施設があったようです。おそらく鎌倉時代に始まり、江戸時代に寂れてしまったと考えられますが、現在でもそれらの建物を覚えている方々が健在です。

その後は、「おくまんさん」の名で村人から崇拜され、その境内に咲く桜の木は江戸見桜と呼ばれ、「おくまんさん」のシンボルとして、また大山詣での道標として長く人々に親しまれてきたのです。

また、この熊野神社境内にあったと思われる石碑が、現在杉山神社に保存されて

武州橋樹郡

末長邑

熊野大権現

壽慧奈賀久景三
具摩埜也山櫻時保

います。おそらく武士を祖先にもつ時保という人が、熊野権現への言祝ぎを五七調の俳諧の形で書き付けたのでしょう。時は、江戸末期だと思われま

す。俳諧の文字は佳字を用いて一字一音で表記したものです。「末永く影満つ熊野や山桜」意味は、熊野の山桜は永遠に光に満ちていることだ(渡辺説)ということ

です。平井説では、この地が紀州の熊野神社のミニチュアで、「影」は「模す」と同意語ととらえています。

熊野信仰の敬虔さにあふれる詩で、時保の思いが伝わってくるよう

僕らはみんな生きている

★六月六日、チヨットコイ、チヨットコイと鳴くコジュケイが二羽並んで歩いてるのを観察した。

★ターザンの樹に來ていた人が、クワガタ三匹観察と報告有り。

★犬の散歩中に蛇を発見。

★タヌキを観察していたら、あちらもじつと見ていて目があつてしまったと連絡有り。夜、エサ場にお出かけのようす。

★四月の江戸見桜の長寿を願う会で、素晴らしい歌を披露してくれたメモリーズ。その中の梶原さん、岩崎さんが先日、日本作曲家協会主催の新人歌手オーディションで見事グランプリを獲得しました。ミュージカルを目指す彼女たちをぜひ、応援しましょう。JR武蔵線武蔵溝ノ口改札前で歌っているメモリーズがいたら、足を止めて下さい。

★おくまんさんを愛する人々が道に名前を付けました。梶ヶ谷から上っていく坂は「堂坂」。江戸見桜横は「かぐやの小道」。「観音寺の谷」他などです。

★問い合わせが多いので、江戸見桜の看板を設置しました。ご覧下さい。

編集後期

「江戸見桜の長寿を願う会」では、多くの方々が快く力を貸して下さいました。厚くお礼を申し上げます。

また、この通信発行にあたり、渋谷繁氏に大変お世話になりました。

「江戸見桜の会」は政治や宗教等には一切関係なく、おくまんさんのシンボルである江戸見桜の長寿を願い、お世話をする会です。地主さんにも理解をいただいて、竹切りや草刈りなどを行つていきます。

この季節、蚊が多いので、長袖でお出かけ下さい。また、生態系を崩すことのないよう、犬の糞などは持ち帰りましょう。

案内図

許可なく木や草花を折らない、ゴミやタバコを捨てない、畑に立ち入らないなどルールを守りましょう。

